

平成 30 年度 鹿児島県がん診療連携協議会 議事要旨

開催日時 平成 30 年 11 月 2 日（金） 15：30～16：50

開催場所 鹿児島大学病院管理棟 4 階第一会議室

I 開会挨拶

議事に先立ち鹿児島大学病院 上野腫瘍センター長から挨拶があり、次いで鹿児島県くらし保健福祉部健康増進課五田技術補佐から挨拶があった。

II 議題

1 平成 30 年度都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会の報告

7 月に開催された協議会の開催内容について、上野委員長及び各部門から資料に基づき概略以下のとおり報告があった。

- ① 厚生労働省からのお知らせについては、がん検診の受診機会ならびにがん予防に関する事項、がん診療連携拠点病院等の指定要件の見直し（小児がん拠点病院含む）、がんゲノム医療提供体制の整備、治療と仕事の両立支援に関する診療支援
- ② がん登録部会はⅡで報告
- ③ 情報提供・相談支援部会はⅡで報告
- ④ 緩和ケア部会については、地域緩和ケア連携調整員に関する事項
- ⑤ 臨床研究部会からの報告はⅡで報告
- ⑥ AYA 世代のがん患者の妊孕性温存に関する取り組みについては、滋賀県の取り組み事例および鹿児島県内、本院の現状に関する報告
- ⑦ がん診療連携拠点病院の医療安全に対する取り組みについては、人的配置要件等
- ⑧ 事前アンケート結果は、がん教育、普及啓発について県内の取り組み状況、都道府県レベルでのがん診療の室の向上を目指した PDCA サイクル確保の取り組みについて
- ⑨ 「第 3 期がん対策推進基本計画」を踏まえた、今後のがん診療連携拠点病院が担っていくべき役割についての討議については、⑩別紙厚労省通知（拠点病院の整備に関する事項）に基づきこれまでとの変更事項

2 鹿児島県がん診療連携協議会各部門からの報告

がん相談・連携部門からの報告については、はじめに川窪 MSW から 30 年 7 月に開催された「第 10 回都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会」情報提供・相談支援部会について、資料⑤に基づき報告があった。

次いで、田畑副看護師長より、平成 30 年度鹿児島県がん相談支援部門会上半期活動報告について資料に基づき教育、アンケート、広報周知・活動の視点で報告があった。

がん緩和医療部門からの報告については、満留看護師長から、資料に基づき緩和ケアの質の向上と取り組みと緩和ケア研修会の受講勧奨と内容の視点で報告があった。

化学療法部門からの報告については、鈴木部門長からゲノム医療について慶応大学病院（拠点病院）と連携し、鹿児島大学病院が、「がんゲノム医療連携病院」として7月から活動を開始したことおよび具体的検査内容等について患者実績も含め報告があった。

次いで、上野委員長からゲノム検査の保険診療化への方向性について補足説明があった。

がん登録部門からの報告については、中筋診療情報管理士からはじめに資料②に基づき30年7月に開催された「第10回都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会」がん登録部門について報告があり、合わせて鹿児島県がん登録部会の取り組み状況について資料に基づき報告があった。

次いで、有馬がん登録部門長から、鹿児島県全体のデータを公表していくことについては、がん登録部門会の責任において対応していきたい旨の提案があり、審議の結果、異議なく了承された。

Ⅲ その他

なし

Ⅳ 閉会挨拶

鹿児島大学病院腫瘍センター鈴木副センターから閉会の挨拶があった。